学校番号	3005

令和２年度　公民　科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　新現代社会　（帝国書院）						
副教材等	地歴高等地図（帝国書院） 私たちが拓く日本の未来　有権者として求められる力を身に付けるために（総務省・文部科学省）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会の基本的な事項を単に知識として覚えるのでなく、多様な問題について，どう考え，どのような態度で臨むかを決定することが大切です。また，多様な意見が存在することを知り，意見交換することが必要です。

評価は出席状況・授業態度、課題や提出物の提出状況とその内容、定期考査の成績などを総合的に判断します。

２　学習の到達目標

広い視野に立って、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、自らの生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から、社会的事象の本質について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化やさまざまな考え方を踏まえて公正に判断する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身につける。	現代社会の基本的問題にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	課題提出 発表 授業態度	定期考査 課題提出 発表	定期考査 課題提出 発表	定期考査 小テスト

上記に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代社会の諸課題とそのとらえ方	・テーマ　環境 ・テーマ　人口・資源・エネルギー ・テーマ　生命 ・テーマ　情報	○	◎	◎	○	a 現代社会の諸課題に関心をもち、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。 b 諸課題について自己とのかかわりの観点から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、適切に意見を述べることができる。 C 諸資料をさまざまなメディアを通して収集・選択して、効果的に活用している。 d 現代社会の諸課題の現状、あり方を考察するための知識を理解し、身につけている。	・授業態度 ・発表 ・課題提出 ・定期考査
	現代の社会と自己実現	○青年期の意義 ・青年期について考えよう ・悩むことについて考えよう ・男女について考えよう ・社会参画について考えよう ○よく生きるとは ・生きることについて考えよう ・学ぶことについて考えよう ・他者と共に生きることについて考えよう ・宗教について考えよう ・日本人の思想について考えよう ・日本の伝統と文化について考えよう	◎	○	○	○	a 青年期に対する関心を高め、自己形成の課題を、宗教・伝統などと関連させながら意欲的に追求し、考察しようとしている。 b 青年期に関する諸事象から課題を見出し、自己形成の課題を多面的・多角的に考察・判断して適切な方法で意見を表現することができる。 C 諸資料をさまざまなメディアを通して収集・選択して、効果的に活用している。 d 青年期の意義、社会参画について理解し、科学的精神や宗教・伝統などの知識を身につけている。	授業態度 小テスト 課題提出 発表 定期考査

	現代の民主政治と民主社会の倫理	○民主社会の原理と日本国憲法 ・近代憲法の原理 ・近代立憲主義の広がり ・平等権と差別 ・自由権 ・社会権、参政権、国務請求権 ・広がる人権の考え方 ○日本の政治機構と政治参加 ・国民主権と議会制民主主義 ・国会のしくみと役割 ・内閣と行政の役割と責任 ・世界の政治制度 ・司法の役割と責任 ・地方自治のしくみとマスメディア ・選挙制度とその課題 ・平和主義と日本の防衛政策 ・これからの日本の安全保障	◎	◎	○	○	a 現代の政治に対する関心を高め、民主社会においての自己のあり方について意欲的に考察しようとしている。 b 現代民主社会の諸事象から課題を見出し、民主社会を基礎づける考え方などについて多面的・多角的に考察し、さまざまな立場などをふまえ公正に判断して、さまざまな方法で意見を表現することができる。 C 諸資料をさまざまなメディアを通して収集・選択して効果的に活用している。 D 日本国憲法の三大原理をはじめ、権利・制度の意義・役割を理解し、その知識を身につけている。	
後期	現代の経済と国民の福祉	○市場経済のしくみ ・経済活動と市場経済の考え方 ・市場のメリットと限界 ・経済の変動 ・企業の役割 ・中小企業と農業の問題 ・金融の役割 ・政府と財政の役割 ・財政の課題 ○豊かな社会の実現をめざして ・公害対策と環境保全 ・自立した消費者へ ・労働者の権利と労働問題 ・社会保障の考え方	○	○	○	◎	a 現代の経済社会に対する関心を高め、意欲的に追求し、考察しようとしている。 b 現代の経済社会の諸事象から課題を見出し、経済主体の役割・責任について多面的・多角的に考察し、さまざまな立場・考え方をふまえて判断して、適切に表現することができる。 C 諸資料をさまざまなメディアを通して収集・選択して判断の根拠として効果的に活用している。 D 現代の経済社会の変化、福祉向上、労働問題などについて理解し、その知識を身につけている	・授業態度 ・課題提出 ・定期考査

	現代の国際社旗と日本の役割	○国際経済の動向と貧困の解消 ・国際経済のしくみ ・国際経済の枠組み ・地域経済統合のゆくえ ・グローバル化と自由貿易協定 ・新たな国際経済に秩序 ・経済格差とその是正 ○国際政治の動向と平和の追求 ・国際社会における国家 ・戦後の国際情勢 ・現代における紛争 ・国連の成立と役割 ・国連の課題 ・核兵器と軍縮 ・世界的な人権保障の動き ・国際協力と日本の課題	○	○	◎	○	a 国際社会における諸問題と日本の役割について意欲的に追求し、考察しようとしている。 b 国際社会の動向・諸問題から課題を見出し、国際平和・国際協調・国際的組織の役割・責任について考察し、さまざまな立場・考え方をふまえて公正に判断して、適切に表現することができる。 C さまざまなメディアを通して資料を収集・選択して判断の根拠として効果的に活用している。 D 国家主権、人権・民族問題などにおける国際組織と日本の役割について理解し、その知識を身につけている	授業態度 小テスト 課題提出 発表 定期考査
	共に生きる社会をめざして	持続可能な社会のために ・持続可能な社会の形成	◎	○	○	○	a 持続可能な社会の形成に参画するという観点から現代社会における課題を意欲的に探求し、考察しようとしている。 b 持続可能な社会の形成について課題を見出し、社会の変化やさまざまな立場・考え方をふまえ、適切に意見を表現することができる。 C さまざまなメディアを通して資料を収集・選択して判断の根拠として効果的に活用している。 D 持続可能な社会の形成に参画するための課題や方法を理解し、その知識を身につけている	授業態度 課題提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（案）の作成上の留意点
原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。